



教員紹介

経営学部

長澤 省吾 NAGASAWA Seigo

職位	准教授
最終学歴	中京大学大学院体育学研究科博士前期課程 修了
職歴	中京大学大学院体育学研究科 助手 / 中京大学体育学部健康科学科 講師
学位	体育学修士
資格（免許）、認定	中学校・高校 保健体育 専修免許状 / 日本レクリエーション協会レクリエーションコーディネーター・上級レクリエーションインストラクター/ 全日本スキー連盟 準指導員・C級検定員 / 小型船舶2級・水上オートバイ免許証
担当科目（学部）	運動・スポーツ生理学 / スポーツ実技Ⅲ水泳 / スポーツ栄養学
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	夢に向かって努力をすれば、全ての経験が人間形成に繋がる 我々は、全力で応援します。
研究内容	骨を鍛える スポーツ活動と休息方法に関する研究 女性アスリートと月経に関する研究
研究分野キーワード	骨粗鬆症 / 運動/ スポーツ/ Ca 摂取不足/ 栄養調査
URL	https://researchmap.jp/seigo47
著書	1) 北川 薫 編著、府内 勇希、加藤 貴英、加藤 尊、三浦 哉、宮城 修、長澤 省吾、大家 利之、高見 京太、田中 千晶、鳥居 昭久、運動とスポーツの生理学<改訂4版>、市村出版、P55~P60（部分改編）、2020年10月
論文	1) 長澤 省吾 貯筋アップ教室参加者の身体的な特徴および運動継続に関する一考察 愛知大学体育学論叢（第22号 73-76 2015） 2) S. Nagasawa, Y. Umemura Bone hypertrophy in rats: Effects of jump number and height. Adv Exerc Sports Physiol.vol.8.4.87-92 2002

学会発表

3) **S. Nagasawa**, A. Honda, N. Sogo, Y. Umemura Effects of low- repetition jump exercise on osteogenic response in rats. J Bone Miner Metab Vol.26.3.226-230 2008

4) **長澤 省吾**、梅村 義久 ラットのジャンプトレーニングにおけるジャンプ時の床反力と骨強度および骨重量との関係 中京大学体育学論叢 第 42 号 1・2 巻合併号 27-31 2001

5) **長澤 省吾**、十河 直太、本田 亜紀子、梅村 義久 ジャンプトレーニングを複数セットに分割することが骨形成率におよぼす影響 中京大学体育研究所紀要 第 17 号 21-27 2003

ほか 15 件

1) 黒川 遼太、**長澤 省吾**、梅村 義久 ラットの錘負荷ジャンプトレーニングの頻度が骨の適応に与える影響 第 27 回日本体力医学会東海地方大会 (2023 年 3 月 三重大学)

2) **長澤 省吾**、横井 康博、小島 廣光 ソフトテニス活動中の BCAA 摂取が血中乳酸動態におよぼす影響 第 77 回日本体力医学会全国大会 (2022 年 9 月 獨協医科大学)

3) **長澤 省吾**、横井 康博、小島 廣光 スポーツ現場におけるカラーバリアフリーを目指した研究 第 76 回日本体力医学会全国大会 (2021 年 9 月 三重大学)

4) **長澤 省吾**、横井 康博、小島 廣光 ソフトテニスの試合を想定した運動中のリカバリー方法と水分補給がパフォーマンスにおよぼす影響 第 75 回日本体力医学会全国大会 (2020 年 9 月 鹿児島大学)

5) **長澤 省吾**、十河 直太、本田 亜紀子、山根 基、前田 百恵、梅村 義久 ハイインパクトトレーニングとカルシウム欠乏がラットの骨塩量・骨代謝マーカーにおよぼす影響 第 54 回日本栄養改善学会全国大会 (2007 年 9 月 長崎県栄養士会)

6) **長澤 省吾**、十河 直太、本田 亜紀子、山根 基、前田 百恵、梅村 義久 ラットの骨強度を高めるトレーニング期間について 第 62 回日本体力医学会全国大会 (2007 年 9 月 ノースアジア大学)

7) **長澤 省吾**、本田 亜紀子、十河 直太、前田 百恵、梅村 義久 ラットのジャンプトレーニングが血清骨代謝マーカーにおよぼす影響 第 11 回日本体力医学会東海地方会 (2007 年 3 月 名古屋大学大幸キャンパス)

8) **長澤 省吾**、前田 百恵、十河 直太、本田 亜紀子、梅村 義久 ハイインパクトトレーニングとカルシウム摂取量の違いがラットの骨強度・骨密度に及ぼす影響 第 53 回日本栄養改善学会全国大会 (2006 年 10 月 茨城県栄養士会)

9) **長澤 省吾**、前田 百恵、十河 直太、本田 亜紀子、梅村 義久 カルシウム制限下におけるジャンプトレーニングが部位別骨塩量の増加に及ぼす影響 第 61 回日本体力医学会全国大会 (2006 年 9 月 兵庫医科大学)

ほか 25 件

社会的活動

(公開講座・講演・

国際交流など)

【地域活動】

- 1) 東海/愛知学生ソフトテニス連盟 会長 (2023年4月)
- 2) 愛知県ソフトテニス連盟 副会長 (2023年4月)
- 3) 東海市スポーツ推進会議 副委員長 (2022年4月)
- 4) 東海市ハーフマラソン 実行委員会 (2019年)
- 5) 愛知/東海大学バレーボール連盟 監事 (2018年)

【健康運動教室】

- 1) 地域住民のための「健康づくり運動教室」愛知大学主催 (2012年～)

【講演・講師】

- 1) 「からだづくり運動」(東海市立船島小学校) 2022年
- 2) 「水分補給について」(東海市スポーツ推進委員会全体研修会) 2022年
- 3) 「からだづくりのための栄養学」(愛知県みよし市) 2020年～2022年
- 4) 「からだづくり運動～筋肉と骨格～」(犬山市民総合大学スポーツ学部) 2018年

【科学研究費】

- 1) 「ハイインパクトトレーニングにおける骨肥大が体内カルシウム恒常性機序におよぼす影響」
(若手研究B: 課題番号 16700492) 研究代表者: 長澤 省吾
- 2) 「不登校リカバリー群の社会的予後に関する縦断的研究」
(挑戦的萌芽研究: 課題番号 21653111) 研究代表者: 十一 元三

【新聞寄稿】

- 1) 「間違ったダイエット方法を見直そう」中部経済新聞 2022年11月2日
- 2) 「日常でできるサルコペニア対策」中部経済新聞 2021年11月25日
- 3) 「暑熱順化で猛暑を乗り切る」中部経済新聞 2021年6月9日
- 4) 「冬の過ごし方を考えよう」中部経済新聞 2021年2月4日
- 5) 「健康寿命について考えよう」中部経済新聞 2020年7月27日
- 6) 「子どもを取り巻く運動環境と発育発達」中部経済新聞 2018年8月7日

【部活動】

- 2022年 秋季東海学生ソフトテニス選手権大会 優勝
2022年 秋季東海学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 準優勝

その他

2022年 秋季愛知学生ソフトテニス選手権大会 準優勝
2022年 全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会 Best16
2022年 全日本学生大学対抗戦 Best16
2022年 秋季愛知学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 優勝(3連覇)
2022年 春期愛知学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 優勝(2連覇)
2022年 春季東海学生ソフトテニスシングルス選手権大会 3位
2022年 春季東海学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 準優勝
2021年 秋季東海学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 優勝
2021年 秋季東海学生ソフトテニス選手権大会 準優勝
2021年 秋季愛知学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 優勝
2019年 東海学生ソフトテニスシングルス大会 準優勝/3位
2018年 東海学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 優勝(⇒全日本大学ソフトテニス王座決定戦 出場)
東海学生ソフトテニス選手権大会 優勝
2017年 西日本学生ソフトテニス選手権大会 Best8
2015年 東海学生ソフトテニス大学対抗戦1部リーグ 優勝(⇒全日本大学ソフトテニス王座決定戦 出場)